



## 検討テーマ資料

中野駅新北口駅前エリアの再整備モデルを踏まえた  
アリーナ整備・運営のあり方



# 検討事項(主な論点)

## 1. アリーナを起点としたまちづくりのあり方

アリーナの立地は、まちの**魅力向上**や**経済活性化**に大きく貢献する一方、まちの**安全面**や**交通面**、**環境面**などの課題が生じることも想定されることから、アリーナ立地の影響を様々な側面から検証することが必要である。

## 2. アリーナの開発コンセプトと市場動向

アリーナの利点は、多目的な使用を可能とするものであるが、中心となる用途を定めなければ、非効率な施設仕様となる恐れもある。今後の**スポーツ市場**や**ライブ・エンタテインメント市場**、**MICE市場**などの動向を踏まえるとともに、前身の中野サンプラザが発信してきた**音楽文化**や**まちなかのサブカルチャー**などを活かした開発コンセプトを定めていく必要がある。

## 3. アリーナの所有と運営のあり方

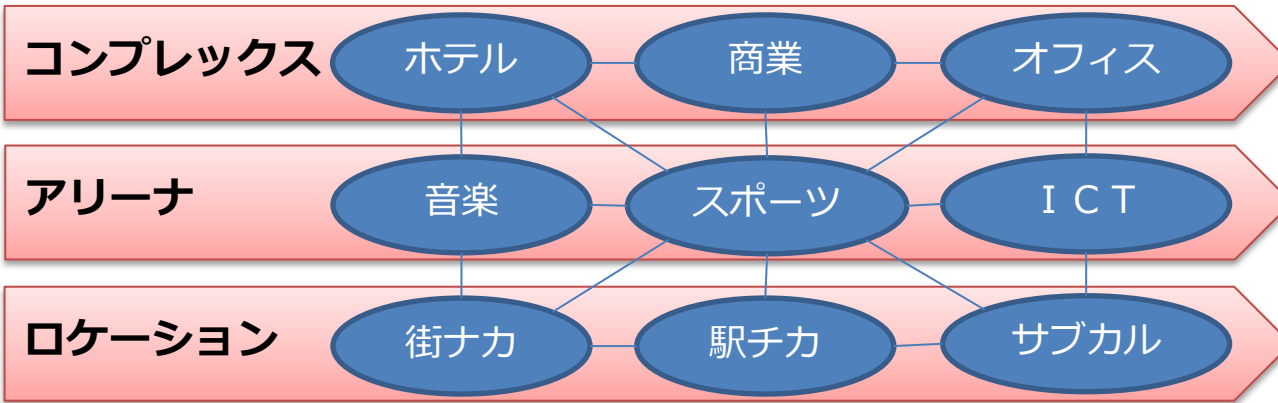
アリーナの所有と運営のあり方については、公共と民間の役割分担を整理し**ベストミックス**を追求していくことが必要である。**プロフィットセンター化**に向け、施設所有と事業運営の一体的運用や、他の複合機能との連携による利益の最大化、事業形態や収支構造などを検証する必要がある。



# 中野駅新北口駅前エリアの再整備モデル を踏まえたアリーナ整備・運営のあり方

## 中野駅新北口駅前の再整備モデル

中野四丁目新北口地区まちづくり方針  
における将来の都市像



グローバル都市としての  
中心核を形成する  
シンボル空間

## 実現方策の検討

### 多機能複合開発モデル

多機能複合開発モデルの特徴やまちづくりへの効果などを踏まえ、アリーナ整備や公民パートナーシップのあり方等を検討。

- 運営を見据えた整備・設計
- 機能間の連携方策 など

### アリーナのマルチ化モデル

音楽・スポーツ・ICTの融合による施設・設備により、新たなエンタテインメントを発信するアリーナのマルチ化等を検討。

- 競合施設との差別化
- ICT活用の方策 など

### マネジメント・マーケティングモデル

運営に係る収益の最大化を図るとともに、周辺のまちと連携したエリアマネジメントを展開する等、アリーナのマーケティングを検討。

- 商業等との一体的運営
- アリーナ都市ブランド化など